

(9) 5大学による教育連携

平成26年度5大学連携教育シンポジウムは、平成26年9月11,12日に熊本大学工学部を会場に開催された。平成8年に始まった山形大学、徳島大学、愛媛大学、群馬大学それに熊本大学による教育・研究交流活動の一環として、平成16年度から途切れることなく続いている本シンポジウムは、今回で第10回を数えている。

今回のシンポジウムでは、大学教育のグローバル化に伴い急速に普及しつつあるMOOC等の大規模オンライン講座やeラーニングシステムをはじめとした教育へのICT活用事例、PBLや学生参加型授業などの実践的な教育事例、反転授業や授業時間外学習の促進策をはじめとした学生のやる気を引き出す効果的な教育方法等の各大学における取り組みを共有することを目的として、「教育のイノベーション」をキーワードに各セッションを企画した。

セッションAは学生発表として、学内外での活動を通じて得られたものを発表頂いた。セッションBでは学生の主体的な学びのための様々な取り組みについて各大学に発表して頂いた。導入教育・語学教育や専門教育において有効に機能している取り組み、そのための工夫、解決にむけて取り組むべき課題などについて、有意義な討論・意見交換ができたと思う。また、特別企画として近年、企業研修や教育・医療現場等で注目されている「コーチング」について本学工学部での導入事例の紹介とともに専門スタッフによる実際のコーチングの体験講習をして頂いた。話の聞き方に関する参加型の企画であったことから、教員・学生ともに概ね満足頂いたと思っている。学生だけのワークショップは平成19年度から続いているが、学生から様々な視点で意見が出され、一つ一つの意見が教員として大変参考になった。

時間の都合等もあり、討論に十分な時間がとれたとは言えないが、各大学における教育の新たな取り組みを共有でき、さらにこれからのFD活動について考える刺激的な場になったのではないかと思う。本シンポジウムを起点として大学教育における新たな展開が生まれることを期待している。

平成二十六年

五大学連携教育シンポジウム

日時 平成26年9月11日(木)

15:00~17:00

平成26年9月12日(金)

9:00~15:10

場所 熊本大学工学部
共用会議室A, B, C

● **内容**

9月11日(木)

セッションA 「大学生活を通じて自分が得たもの」

9月12日(金)

セッションB 「教育のイノベーション」

セッションC 「深い学びのために自分ができること
~学びのイノベーション~」

セッションD 「FD活動の現在と未来」

セッションE 「報告と総括」

特別企画 9月12日(金) 10:30~11:50

「コーチング導入の試み~社会環境工学科の取り組み~」

椋木 俊文 (熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)

織方 剛, 原口 理加 (コーチングブリッチ)

このシンポジウムでは、5大学（山形大、群馬大、愛媛大、徳島大、熊本大）での教育改革に向けた取り組み事例の紹介、学生による発表やワークショップを行います。また、今年度のシンポジウムでは、より良い教育への糸口を探るために、コミュニケーション技法である「コーチング」を導入した教育への取り組みに関する講演を企画しました。教員のみならず、学生諸君の積極的な参加を期待いたします。

● 問合せ先：自然科学系事務ユニット 工学部教務担当（内線 3522）

平成26年度 5大学連携教育シンポジウム プログラム(1日目)

会場： 熊本大学 工学部1号館 共用会議室A

平成26年9月11日(木)

第1日目 : 15:00~17:00

開会式 15:00~15:20

司会 小塚 敏之(熊本大学)

開会のあいさつ

位寄 和久(熊本大学工学部副学部長)

熊本大学工学部のFD活動の歩み 城本 啓介(同授業改善・FD委員長)

セッションA「大学生活を通じて自分が得たもの」 15:20~17:00

司会 日下 一也(徳島大学)

各大学20分(1人10分)

A-1「たたら製鉄プロジェクト」

岡崎 願之晋(徳島大学工学部化学応用工学科(夜)B2)

A-2「コイルガンプロジェクト」

矢田 貝俊樹(徳島大学工学部機械工学科 B2)

A-3, 4「国際合成生物学コンテスト iGEMへの挑戦」

今村 芽依(愛媛大学工学部工学部応用化学科 B4)

越智 美和(愛媛大学工学部工学部応用化学科 B4)

A-5「「米沢市の大学」という場で学んだこと」

上野 洋(山形大学工学部情報科学科 B4)

A-6「大学教育を通して得たもの」

齋藤 翼(山形大学大学院理工学研究科(工学系)情報科学専攻 M1)

A-7「中国研修を通して」

千明 幸司(群馬大学工学部機械システム工学科 B3)

A-8「FLCで変わったこと」

堀口 瞭(群馬大学工学部環境プロセス工学科 B3)

A-9「日韓合同デザインキャンプに参加して」

前菌 亨(熊本大学大学院自然科学研究科マテリアル工学専攻 M1)

A-10「理数応援プログラムで得たこと」

山崎 温(熊本大学大学院自然科学研究科マテリアル工学専攻 M1)

懇親会 FORICO(黒髪南地区生協レストラン) 17:30-19:00

平成26年度 5大学連携教育シンポジウム プログラム(2日目)

会場： 熊本大学 工学部1号館 共用会議室A, B, C

平成26年9月12日(金)

第2日目 : 9:00~15:10

午前の部

セッションB「教育のイノベーション」(共用会議室A) 9:00~11:50

司会 小林 真也(愛媛大学)

B-1「多読学習とその評価—Moodle Readerの活用」

Barry Keith(群馬大学教育基盤センター 准教授)

講演15分 質疑5分 09:00-09:20

B-2「学生主体の情報科学教育への試み」

安田 宗樹(山形大学大学院理工学研究科(工学系)情報科学分野 准教授)

講演15分 質疑5分 09:20-09:40

B-3「学部専門教育における文章作成の実践的演習と追跡評価システムの構築」

伊藤 大道(愛媛大学理工学研究科物質生命工学専攻応用化学コース 助教)

講演15分 質疑5分 09:40-10:00

B-4「導入科目「プロジェクトマネジメント基礎」における教育効果」

日下 一也(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部 講師)

講演15分 質疑5分 10:00-10:20

休憩10分

特別企画80分(含、質疑・討論) 10:30-11:50

「コーチング導入の試み～社会環境工学科の取り組み～」

椋木 俊文(熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)

織方 剛・原口 理加(コーチングブリッジ)

概要:ツールの進歩や過干渉、指示命令過多により、「コミュニケーション下手」「指示待ち」「マニュアル」人間を世の中に送り出しているのは、私達おとなです。価値観がダイナミックに変化している社会にどんな人材を育成する必要があるのか、日常で学生とどう関わるといいのか、「自らイノベーションできる人間」を育てるには。大手企業は既に必ず導入している「コーチング」のメソッドを学び、今後の教育のありかたを考えます。

ランチミーティング 11:50~12:50

5大学担当者会議(共用会議室C)

司会 城本 啓介(熊本大学)

学生ミーティング(共用会議室B)

司会 古賀 義孝(熊本大学)

午後の部

セッションC「深い学びのために自分ができること～学びのイノベーション～」

(学生ワークショップ、共用会議室B) 13:00~14:20

司会 椋木 俊文(熊本大学)、織方 剛・原口 理加(コーチングブリッジ)

セッションD「FD活動の現在と未来」

(教員セッション、共用会議室A) 13:00~14:15

司会 山本 修(山形大学)

D-1「学生の就業力育成と教員の教育力向上ー就業力科目での活動を通して」

松元 宏行(群馬大学大学教育学生支援機構(就業力育成支援室長) 教授)

講演12分 質疑3分 13:00-13:15

D-2「熊本大学工学部におけるティーチングアワード」

小塚 敏之(熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)

講演12分 質疑3分 13:15-13:30

D-3「山形大学テニユア・トラックプログラムにおける社会的知性「SQ」教育とFD
活動」

多田隈 理一郎(山形大学大学院理工学研究科(工学系)

機械システム工学分野 准教授)

講演12分 質疑3分 13:30-13:45

D-4「誰がためにFDはする」

下村 直行(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部 教授)

講演12分 質疑3分 13:45-14:00

D-5「「学生との関わり方」を知るFD講習実施」

小林 真也(愛媛大学理工学研究科電子情報工学専攻情報工学コース 教授)

講演12分 質疑3分 14:00-14:15

セッションE「報告と総括」(共用会議室A) 14:30~15:00

司会 山口 誉夫(群馬大学)

E-1「学生ワークショップの報告」 14:30-14:45

E-2「本シンポジウムの総括」 14:45-15:00

城本 啓介(熊本大学工学部授業改善・FD委員長)

閉会式(共用会議室A) 15:00~15:10

司会 久保田 章亀(熊本大学)

閉会のあいさつ 村山 伸樹(熊本大学工学部学部長)

次期開催大学挨拶 山形大学